

# 広島県議会議員 (三原市・世羅郡)

# くわ き よし のり 桑木良典

議会だより 第14号  
2015年1月発行



〒729-0324 三原市糸崎2-10-3  
電話(0848)61-2888 Fax(0848)61-2811  
メールアドレス:info@kuwaki-yoshinori.com

## 2015年 明るい未来 元気な広島の創造において

本年の抱負を申し上げたいと存じます。皆様から県議会に送っていただき早いものでこの4月で2期目の任期満了を迎えます。今期は、議会の常任委員会「警察・商工労働委員会」と「総務委員会」の2つの委員長を務め、貴重な経験を積ませていただきました。この間、県政に対する様々な要望やご意見を頂戴し、県民生活の向上や地域の発展に繋げていくために懸命に活動して参りましたが、まだまだ多くの課題もございます。

広島県が将来に亘ってこれからも持続的な発展をしていくために最も重要なのは人であると云う考え方に立ち、人口減少への対策として、若年層の転出超過に歯止めをかける取り組みや人材育成、安心して仕事と子育てを両立できる環境をつくり、地域の活性化対策(2013年10月・広島県中山間地域振興条例を策定)やUターン、観光振興を通じて交流人口を増やす取り組みなどに力を入れております。

そして次期定例会では昨年8月に発生した広島市豪雨災害の経験などを踏まえ、「みんなで減災県民総ぐるみ運動(仮称) 条例の制定に向け準備を進めており、災害に対し行政や県民一人ひとりがそれぞれの役割を果たせるように備えながら、老朽化した公共インフラ施設(建物・道路・橋梁など)の点検と整備・長寿命化を図り、皆様に安心して日常生活を営んでいただけるよう努めて参ります。

また政府の地方創生の動きを捉え、地域に必要な事業は地方がもっと裁量権を持ってスピーディーに意思決定ができるように、権限や財源を地方に移す「真の地方分権の推進」の突破口にしたいと考えています。3月全線開通の中国横断自動車道『中国やまなみ街道』を活かし、広島の魅力を発信し、特に中四国地方からより多くの方々に広島を訪れていただく施策や、空の玄関である広島空港周辺の賑わいづくり、アクセス道路の整備などにも取り組む所存でございます。これから来年度の予算編成に向け所属会派の民主県政会の議員と力を合わせ精力的に活動して参りますので、本年もどうかご指導の程よろしくお願い致します

### これまでの主な役職

#### 【県議会】

- 総務委員会 委員長
- 警察・商工労働委員会 委員長(H25)
- 社会基盤強靱化・再生可能エネルギー対策特別委員会 副委員長
- 議会運営委員会 委員
- 広報委員会委員(H26)

- 三原市立三原小学校PTA会長
- 元三原市PTA連合会 副会長

### 略 歴

- 【生年月日】 昭和45年10月5日生(44歳)
- 【住 所】 三原市城町1-13-18
- 【学 歴】 広島経済大学経済学部経営学科卒業
- 【職 歴】 ・衆議院議員 佐藤守良 秘書  
・衆議院議員 佐藤公治 秘書  
(前参議院議員)
- 【家 族】 妻・一男一女
- 【好きな言葉】 「義をみてせざるは勇なきなり」

# 「ひろしま未来チャレンジビジョン」で豊かな地域作り！



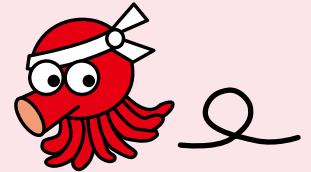
世羅モトクロスレース大会ジュニア表彰式

## 観光振興と地域活性化

- 地域の魅力(例：しまのわ2014)を県内外に発信し、観光客や交流人口の増加に努める。
- 中山間地域振興条例(2013)に基づき、地域を活性化し新たな雇用を創出。
- 地域の新たな観光資源の発掘とPR。



ミハラッキー(デカキャラ)



## 人づくり(教育)

- 子どもを「家庭で育て、学校が磨き、地域で鍛える」環境を作る。
- 学校で安心して学ぶため耐震化などの環境整備を促進。
- 国際社会や地域で活躍する人材の育成と学ぶ機会の確保。



皆様の声を県政へ

## 農林水産業の振興

- 特産品のカキやレモン、梨に加え、キャベツなど新たな特産品の育成や県産木材の利用増を図る。
- 資源の保護・育成に力を入れ、担い手の確保に努める。
- 有害鳥獣対策に積極的に取り組む。

## 県財政の再建

- 広島県の抱える借金は臨時財政対策債を含め約2.3兆円。事業の見直しを徹底的に行い、将来に付けをまわさないために財政健全化を図る。

## 暮らしの安全

- 災害に備え被害を最小限に留める社会インフラの整備と防災対策を推進。
- 健康と命を守る医療や社会保障を充実。
- 高精度放射線治療センターの設置。(広島駅北口に2015秋・開業予定)



連合三原総会



交通安全への取り組み

## 経済活性化と雇用創出

- ものづくり県の強みを活かして新産業を創出し、6次産業化の更なる推進。
- 新卒者や未就業者への就業支援や雇用のミスマッチ解消に努め、仕事探しを応援。
- 仕事と子育てが両立できる環境作りを推進。